

『人生の心構え』 ～ 『もしかすると この時のためかもしれない』 ～

2025 年 6 月 15 日 筆者が『21 世紀のエステル会顧問』を仰せつかっている『21 世紀のエステル会』代表 金田佐久子牧師(川口がん哲学カフェいずみ代表)から【昨日は、『川口がん哲学カフェいずみ』があり、77 回を数えました。 今回のエステル会ニュースレターに、樋野先生の『人生の心構え』が紹介されていたのでハガキカードを作り、昨日のカフェの参加者にプレゼントしました(画像)。 高齢者が多いため、70 歳代以降の言葉が入っていて、喜ばれました。『今度、樋野先生がいらしてくださったとき、それぞれ年代ごとの言葉を詳しく説明してほしい』という要望もありました。

2022 年 1 月の 5 周年講演会のときに、『人生の心構え』のハガキカードを参加者にプレゼントしました。 昨日、その講演会以来、久しぶりに『いずみカフェ』に参加してくださった女性の方は、カードを職場の机に見えるように置いている、と言ってくださいました。 バージョンアップした今回のハガキカード(画像)を『これも職場の机に入れます』と言ってくださり、励まされました。 新しいカードを渡す日にちょうど来られるとは、何というタイミングでしょう！

初参加の男性の方は、樋野先生の『がん哲学へようこそ』(画像)をお読みになったそうです。――樋野先生の言葉の処方箋に力をいただいている人が、いずみカフェにも、何人もおります。感謝申し上げます。】との励ましのメールが届いた。

21 世紀のエステル会の理念は【私たちはいつか病気になり、老いを迎え、やがて死に向き合う時が来ます。それを絶望の時と呼ぶ人は多いでしょう。 けれども、人は病気(がん)になっても、『病人』になるのではありません。 健康な時には気づかない大事な使命があるのです。人は必ず人生から期待されていることがあるはず。『もしかすると この時のためであるかもしれない。』(エステル記 4 章 14 節)】と謳われている。

6 月 16 日は、息子の友人(Surai Shin 君; 画像)のお父様のタイレストラン『マライ・ガイヤーン』(大泉学園駅)で、wife と息子夫妻と夕食の時を持つ。

樋野興夫先生の「人生の心構え」

- ◎ 0 歳から 10 歳
“ 愛情豊かな動物&老人に育てられた子供は大成する ”
- ◎ 20 歳代&30 歳代
“ 人に言われたことを黙々とがむしゃらにやる ”
- ◎ 40 歳代
“ 自分のやりたいことや好きなことに専念する ”
- ◎ 50 歳代
“ 積極的に周りの人の面倒をみる ”
- ◎ 60 歳代
“ 自分のことしか考えていなかったら恥と思え ”
- ◎ 70 歳代
“ 自分のことを語る ”
- ◎ 80 歳代
“ 自分の人生をプレゼントする ”
- ◎ 90 歳代
“ 天寿を全うする ”
- ◎ 100 歳
“ 天国でカフェを開く ”

2025 年 6 月 14 日 川口がん哲学カフェいずみ



新潮新書

Brevity is the soul of wit,
and tediousness the limbs and outward flourishes.

樋野興夫
HINO Okio

がん哲学外来へ ようこそ

心配するのは 一日一時間 でいい

患者と家族3000人との対話から生まれた
「ことばの処方箋」



新潮新書 新刊

偉大なるお節介症候群 認定証

S u r a i S h i n 殿

貴殿は以下の診断基準を満たした
ため、ここに認定いたします。

- 一、暇げな風貌
- 二、偉大なるお節介
- 三、速効性と英断

平成 25 年 1 月 3 日

樋野KANZO倶楽部

新渡戸稲造学校

